

かながわけん がいこくじんきよじゆうしえん がいこくじん  
神奈川県の外国人居住支援システムと、かながわ外国人

すまいサポートセンター—設立10周年記念フォーラム

がいこくせきじゆうみん じゆうたくもんだいかいけつ せいど かつどう ねん ふりかえる  
～外国籍住民の住宅問題解決のための制度と活動の10年を振り返る～

にちじ ねん がつ にち どのうび かいじょう  
日時：2011年11月26日（土）13:30～17:00（開場13:00）

ばしよ かい ほんごうだいえき ある ぶん  
場所：あーすぷらざ2階 プラザホール（JR本郷台駅より歩いて3分）

※ 入場無料、事前申し込み不要

2000年、「外国籍県民かながわ会議第1期会議」が県知事への最終提言に、外国籍住民の民間賃貸住宅への

入居問題解決をすべく、検討を促す内容が盛り込まれました。これを受け2001年、神奈川県が外国人居住支援システムを実施すると同時に、この制度を実現し、外国籍住民の住宅問題を解決し、誰もが心地よく安心して暮らせる環境を整えるため「かながわ外国人すまいサポートセンター」（すまセン）が設立されました。様々な立場から、この制度とすまセンに関わってきた有識者、まちづくり専門家、業者、行政職員、外国籍県民の方々にご参加いただき、これまでの10年を振り返り、外国人を取り巻くすまいの状況がどう変わったのか、また、行政とNGOの協働による実践の効果、今後の課題や展望について会場の皆様と共に考えたいと思います。

だい ぶ きちようこうえん たぶんかきようせい きようどう いぎ かだい  
第1部：基調講演「多文化共生をめざす協働 —その意義と課題—」

こうし わたど いちろうせんせい めいせいだいがくじんぶんがくぶにんげんしゃかいがつかきようじゆ  
講師：渡戸 一郎先生（明星大学人文学部人間社会学科教授）

ちようさほうこく がいこくせきじゆうみん じゆうたくもんだい か そうだん  
調査報告「外国籍住民の住宅問題はどのように変わったか—すまセン相談カードから—」

ほうこく いなば よしこ ほうせいだいがくけんにんこうし がいこくじん  
報告：稲葉 佳子さん（法政大学兼任講師、かながわ外国人すまいサポートセンター理事）

だい ぶ  
第2部：パネルディスカッション

パネリスト：わけ たけひと かながわけんたくちたてものとりひきぎょうきょうかいちちよう  
和氣 猛仁さん（神奈川県宅地建物取引業協会会長）

なかむら ノーマンさん（たぶんかかつどうれんらくきようぎかいだいひよう  
中村 ノーマンさん（多文化活動連絡協議会代表）

にしむら あきお かながわけんちようもとこくさいかしゆかん  
西村 明夫さん（神奈川県庁元国際課主幹）

コーディネーター：べい あん かながわがいこくじんすまいサポートセンターりじちよう  
裴 安さん（かながわ外国人すまいサポートセンター理事長）

し かい ちやん へ じゆ い き  
司会：張 恵 珠、伊佐 リスレン